

広報  
No.32  
令和6年新年号

# 庄内赤川

～まもり・つづける・みらいへのこす～

謹  
賀  
新  
年

◆COVER  
稲刈り体験を楽しむ児童(P4)



庄内赤川土地改良区 山形県鶴岡市馬場町7番35号  
TEL : 0235-22-2135(代表) FAX : 0235-22-2185

## 理事長挨拶



庄内赤川土地改良区  
理事長 本間 松 弥

(令和5年度 第1回臨時総代会挨拶より)

令和5年度第1回庄内赤川土地改良区臨時総代会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。総代の皆様方におかれましては、収穫時期を目前に控え何かとご多用のところ、本区総代会にご出席賜りましたことに、心より御礼を申し上げます。

さて、今年の農業用水に関しましては、7月の梅雨明けから記録的な高温が続き、8月には連日35度を超える猛暑日となり、その間まとまった雨がほとんど降らずいよいよ渇水も危惧されたところでありましたが、各ダムをはじめとする関係機関との連携により、必要最低限の用水を確保しながら今日を迎えることができ、ご理解とご協力をいただきました関係機関に対しましては心より感謝申し上げます。

管内における各種事業の進捗につきましては、農地整備事業を始めとする県営事業を中心に、しっかりと予算措置をいただきながら順調に推移しております。中でも、管内の農地整備事業の先駆けでもある「広野地区」につきましては、平成24年の着工から12年目を迎え、いよいよ本年度を以って事業完了の運びとなります。総事業費100億円を超える、まさに歴史的な一大事業でありましたが、これまで長きにわたり事業推進にご尽力された地元関係者の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。

最後になりますが、現在、我々がもっとも懸念しているところの、揚水機などに係る電気料金の高騰につきましては、お陰様で今年度についても昨年同様の助成をいただける見込みとなっております。しかしながら、来年度以降も高止まりが続くことが見込まれることから今後も継続した支援が必要不可欠であると考えております。引き続き国や県に対しては根気強く要請を行いながら、農家組合員の負担増につながらないように努力致す所存でありますので、総代皆様からも何卒ご理解とご支援をお願い申し上げます。私の挨拶にかえさせていただきます。

## 令和5年度 第1回臨時総代会開催

令和5年9月7日、東京第一ホテル鶴岡に於いて、第1回臨時総代会が開催されました。

総代現数60名中51名出席のもと、議長に齋藤耕紀 総代（第6選挙区・渡前）、副議長に五十嵐匡 総代（第9選挙区・大広）を選出し、令和4年度決算関係書類の承認をはじめとする全4案件が上程され、慎重審議していただいた結果原案通り可決されました。

### ◆ 付議事項

承認第1号	令和4年度決算関係書類の承認について
承認第2号	専決処分承認について
議第1号	令和5年度水田・畑作経営所得安定対策等支援事業の計画変更について
議第2号	長期借入金（広野地区）について

### ◆ 報告事項

監報告第1号 令和5年度第1回定例監査報告



副議長 五十嵐匡 総代

議長 齋藤耕紀 総代



## 総代・役員活動報告

### 役員による要望活動

令和5年6月28日、本区に於ける農業農村整備事業の推進及び必要な予算の確保等について、農林水産省及び財務省並びに関係国会議員への要望活動を行いました。

農林水産省では角田大臣政務官、財務省主計局では河口主計官、衆議院議員の加藤鮎子氏、参議院議員の進藤金日子氏と宮崎雅夫氏にそれぞれ要望書を手交し昨今の電気料金や資材価格の高騰による農業水利施設の維持管理費の増加に対する支援の継続等についても強く要望をして参りました。また、農村振興局との勉強会には加藤鮎子議員にもご同席いただき、農業農村整備事業についての知識を深める大変有意義な活動となりました。



角田秀穂大臣政務官と農林水産省政務官室にて

### 総代役員合同研修会

令和5年7月6日～7日、事業推進の一環として総代役員合同研修会を実施しました。

研修先として大規模な国営かんがい排水事業の実施地区である秋田県の大潟土地改良区を訪問し、国営施設の維持管理状況等についてご教示いただきました。

また、八郎潟基幹施設管理事務所と、併設の南部排水機場で水利施設や調整池の視察も行い、国営事業について知見を深めました。

国営施設を有する本区でも、施設の維持管理は重要な業務であり、今回の研修で学んだことを活かし、関係機関との連携を図りながら、事業の持続的な発展と推進に努めて参ります。



大潟土地改良区による概要説明のようす

## 田植え・稲刈り体験

令和5年9月13日、三川町天神堂地内に於いて同町立東郷小学校5年生児童27人が参加した稲刈り体験学習が行われました。

5月の田植え体験学習で植えた稲が黄金色に実り、田んぼの先生(佐藤達也さん)から鎌を使った稲刈りの仕方、稲の縛り方、刈り取った稲を日干しする杭掛けの仕方などの作業を教わりながら収穫しました。

作物の成長、収穫の喜びや季節の移ろいを感じながら、元気に活動ができました。



5月の田植えの様子

## 東3号幹線用水路調整池 お魚救出大作戦!

令和5年9月29日、国営赤川二期農業水利事業(～令和3年)で造成された東3号幹線用水路調整池(三川町押切新田地内)に於いて、同町立押切小学校4年生児童13人が参加し、環境保全活動「お魚救出大作戦～調整池の水を全部抜く～」が今年も開催されました。

調整池には、赤川頭首工から幹線用水路に迷い込んだ魚類のための魚巣が設置されており、本来の生息環境である河川へ戻すため、児童たちはタモを手でギンブナ、アブラハヤなど多くの水棲生物を救出し、赤川へ放流しました。



救出した生物を観察

赤川へ放流

〈協力：十和建设株式会社、佐竹建設株式会社〉ありがとうございました

## 土地改良事業功労者表彰

第42回山形県土地改良大会が、令和5年11月6日山形市の山形テルサにて開催され、永年にわたり土地改良事業の推進に尽力された功績により、本区から4名の役員が表彰されました。おめでとうございます。

副理事長 高橋 好博氏      理事 難波 尚氏  
理事 志田 敏朗氏      理事 五十嵐憲一氏

表彰要件(役員)：10年以上継続してその業務に精励し、良好な成績をあげた者



授賞式の様子

## 河川功労者表彰

河川の監視等に多年にわたり従事し、かつ業務に精励、尽力された功績により本区の施設管理人である井上秀夫さん(鶴岡市)が庄内地区河川改修促進協議会(会長 皆川治 鶴岡市長)より表彰されました。

おめでとうございます。



井上 秀夫 さん  
新斎部分水工 施設管理人  
京田第2揚水機場 副運転手

## 庄内自然博物館構想推進協議会から感謝状

本区が、大山の下池にある鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」の事業推進に貢献したとして、同館(館長 富樫均氏)と、庄内自然博物館構想推進協議会(会長 櫻井修治氏)より感謝状をいただきました。



協議会事務局と理事長室にて

## 全国土地改良大会福井大会にて本間理事長が功労賞受賞

令和5年10月11日、全国から農業農村整備事業関係者が参集し、第45回全国土地改良大会福井大会がサンドーム福井を会場に開催されました。その席上にて全国土地改良事業団体連合会会長表彰が行われ、永年にわたり土地改良事業の推進に尽力された功績により本間理事長が功労賞を受賞し、賞状が贈られました。



## 各所属団体・協議会等による要望活動

安定的な農業生産と土地改良事業の持続的な発展のため、本区が所属する各団体・協議会等において国や県、国会議員等へ積極的な働き掛けを行っています。今後も関係機関との連携を深めながら、予算確保をはじめ、組合員にとって有益となる活動に務めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



R5.7.27 財務省 新川主計局長へ要望  
(全国大規模農業水利事業協議会)



R5.10.20 吉村県知事へ要望  
(山形県国営造成施設管理者会)



R5.10.25 宮崎参議院議員、進藤参議院議員(豊秘書)へ要望 (全国大規模農業水利事業協議会)

- ◆全国大規模農業水利事業協議会(会長)  
令和5年 7月27日  
令和5年10月25日
- ◆山形県国営造成施設管理者会  
令和5年10月20日
- ◆山形県土地改良事業団体連合会(副会長)  
令和5年 6月15日  
令和5年11月 7日
- ◆山形県土地改良事業団体連合会  
南庄内支部(支部長)  
令和5年 8月21日
- ◆酒田地区土地改良事業推進協議会  
令和5年 7月20日

## 視察・研修来区状況

県内外の多くの団体様より、本区のICT自動給水栓システムや用水集中管理システムにご関心をいただいております。現地視察等ご希望の際はご相談ください。

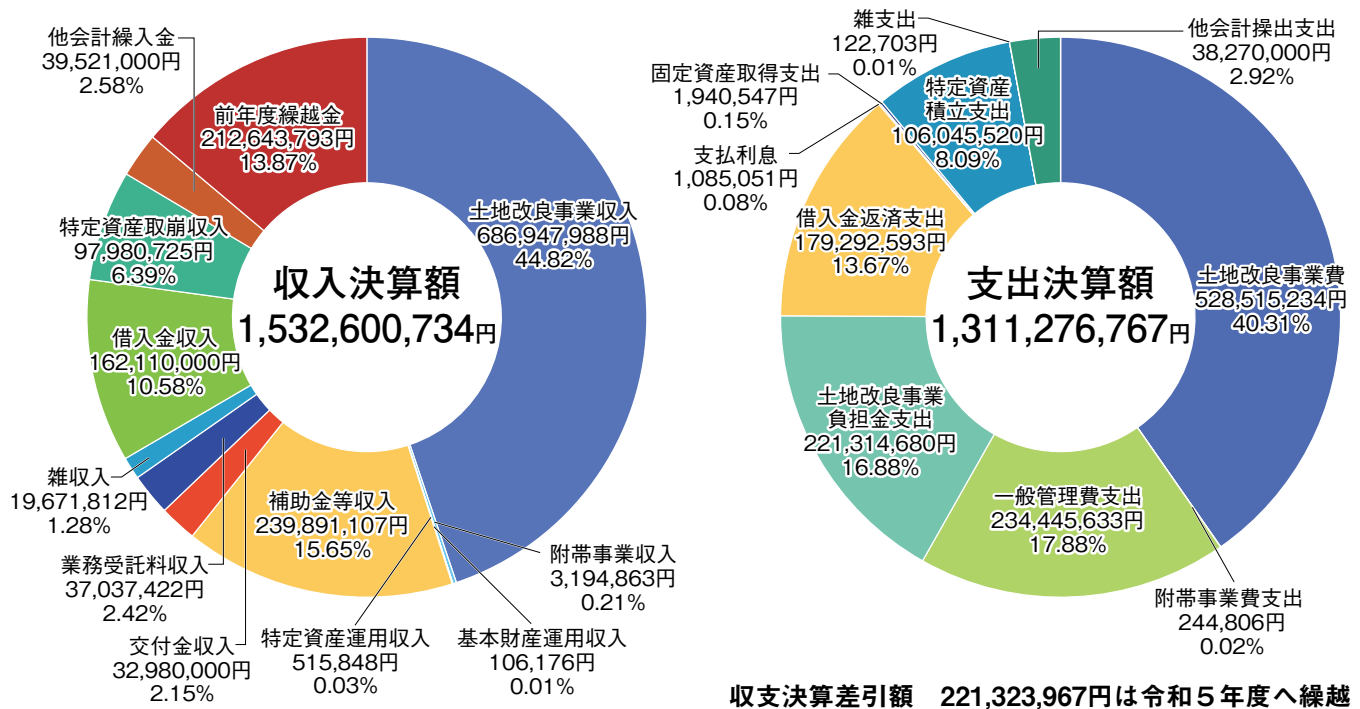
日付	団体名	日付	団体名
R5. 6.14	株式会社みちのくクボタ	R5.10.27	山形県土地改良事業団体連合会最上支部
R5. 6.28	新潟県頸城土地改良区	R5.10.31	新潟県白根郷土地改良区
R5. 6.30	福島県南相馬土地改良区	R5.11. 1	秋田県仙北平野土地改良区
R5. 7.19	三川町立東郷小学校	R5.11. 2	日向川土地改良区 北平田地区
R5. 8. 2	日向川土地改良区	R5.11. 9	新潟県阿賀用水右岸土地改良区連合
R5. 8.18	郡鏡保全会	R5.11.14	日向川土地改良区 日向川中部地区
R5. 8.31	飛鳥砂越広域運営委員会	R5.11.16	北海道土地改良設計技術協会
R5. 9. 7	秋田県南旭川水系土地改良区	R5.12. 7	福島県只見町土地改良区
R5.10.26	宮城県土地改良事業団体連合会仙台支部		計 17団体



ICT自動給水栓の操作説明状況  
(秋田県仙北平野土地改良区)

## 令和4年度 収支決算及び財産状況

### ■ 一般会計



### ■ 収支決算総括表

(単位：円)

会計区分	予算額	収入決算額	支出決算額	差引残高
一般会計	1,632,596,000	1,532,600,734	1,311,276,767	221,323,967
特別会計 赤川地区共同管理費	436,421,000	438,561,039	428,367,730	10,193,309
特別会計 赤川地区小水力発電事業費	73,826,000	73,554,444	73,217,654	336,790
特別会計 天保大川地区小水力発電事業費	1,532,000	1,567,785	1,032,175	535,610
内部取引消去	△ 123,670,652	△ 123,670,652	△ 123,670,652	0
<b>合計</b>	<b>2,020,704,348</b>	<b>1,922,613,350</b>	<b>1,690,223,674</b>	<b>232,389,676</b>

### ■ 貸借対照表

(単位：円)

科目	一般会計	特別会計 赤川地区共同管理費	特別会計 赤川地区小水力発電事業費	特別会計 天保大川地区小水力発電事業費	合計
<b>資産の部</b>					
1 流動資産	317,487,332	11,904,209	6,135,596	537,458	336,064,595
2 固定資産	8,721,931,671	617,157,377	125,377,262	166,658,551	9,631,124,861
(1)基本財産	128,205,574	204,236,573	0	0	332,442,147
(2)特定資産	8,475,986,113	356,749,635	124,350,667	166,658,551	9,123,744,966
(3)その他固定資産	117,739,984	56,171,169	1,026,595	0	174,937,748
3 繰延資産	0	0	0	0	0
<b>資産合計</b>	<b>9,039,419,003</b>	<b>629,061,586</b>	<b>131,512,858</b>	<b>167,196,009</b>	<b>9,967,189,456</b>
<b>負債の部</b>					
1 流動負債	91,622,278	1,710,900	5,798,806	1,848	99,133,832
2 固定負債	829,615,515	1,848,000	0	0	831,463,515
<b>負債合計</b>	<b>921,237,793</b>	<b>3,558,900</b>	<b>5,798,806</b>	<b>1,848</b>	<b>930,597,347</b>
<b>正味財産の部</b>					
1 指定正味財産	5,158,699,079	162,212,436	0	141,447,230	5,462,358,745
2 一般正味財産	2,959,482,131	463,290,250	125,714,052	25,746,931	3,574,233,364
<b>正味財産合計</b>	<b>8,118,181,210</b>	<b>625,502,686</b>	<b>125,714,052</b>	<b>167,194,161</b>	<b>9,036,592,109</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>9,039,419,003</b>	<b>629,061,586</b>	<b>131,512,858</b>	<b>167,196,009</b>	<b>9,967,189,456</b>

## ■正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計 赤川地区共同管理費	特別会計 赤川地区小水力発電事業費	特別会計 天保大川地区小水力発電事業費	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
<b>(1) 経常収入</b>					
1 土地改良事業収入	691,489,075	6,086,000	0	0	697,575,075
2 附帯事業収入	3,194,863	71,119	0	0	3,265,982
3 基本財産運用収入	106,176	6,509,434	0	0	6,615,610
4 特定資産運用収入	515,848	42,035	18,016	43	575,942
5 受取補助金等	239,891,107	0	0	0	239,891,107
6 受取交付金	22,210,000	5,023,098	0	0	27,233,098
7 受取業務委託料	37,037,422	25,730,400	0	0	62,767,822
8 雑収入	12,749,377	444,150	134	5	13,193,666
9 固定資産受贈益	483,415,134	9,541,908	0	7,829,932	500,786,974
10 発電事業収入	0	0	50,090,651	1,029,283	51,119,934
11 他会計繰入金	39,521,000	61,044,679	23,104,973	0	123,670,652
<b>経常収入計</b>	<b>1,530,130,002</b>	<b>114,492,823</b>	<b>73,213,774</b>	<b>8,859,263</b>	<b>1,726,695,862</b>
<b>(2) 経常支出</b>					
1 土地改良事業費	520,103,234	53,634,781	0	0	573,738,015
2 附帯事業費	244,806	0	0	0	244,806
3 減価償却費	561,428,884	10,602,120	0	0	572,031,004
4 一般管理費	255,619,059	10,724,029	2,807,028	0	269,150,116
5 土地改良事業負担金	221,314,680	292,947,192	0	0	514,261,872
6 発電事業費	0	0	4,667,839	10,243,816	14,911,655
7 他会計繰出金	38,270,000	62,625,973	22,774,679	0	123,670,652
<b>経常支出計</b>	<b>1,596,980,663</b>	<b>430,534,095</b>	<b>30,249,546</b>	<b>10,243,816</b>	<b>2,068,008,120</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 66,850,661</b>	<b>△ 316,041,272</b>	<b>42,964,228</b>	<b>△ 1,384,553</b>	<b>△ 341,312,258</b>
<b>2 経常外増減の部</b>					
<b>(1) 経常外収入</b>					
1 固定資産除却益	0	191,936	0	0	191,936
2 過年度修正	0	19,083,816	3,525,628	0	22,609,444
<b>経常外収入計</b>	<b>0</b>	<b>19,275,752</b>	<b>3,525,628</b>	<b>0</b>	<b>22,801,380</b>
<b>(2) 経常外支出</b>					
1 不納欠損処分	486,070	0	0	0	486,070
2 支払利息	1,085,051	0	0	0	1,085,051
3 過年度修正	816,145,110	331,634,323	2,085,338	230,048	1,150,094,819
<b>経常外支出計</b>	<b>817,716,231</b>	<b>331,634,323</b>	<b>2,085,338</b>	<b>230,048</b>	<b>1,151,665,940</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 817,716,231</b>	<b>△ 312,358,571</b>	<b>1,440,290</b>	<b>△ 230,048</b>	<b>△ 1,128,864,560</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 884,566,892</b>	<b>△ 628,399,843</b>	<b>44,404,518</b>	<b>△ 1,614,601</b>	<b>△ 1,470,176,818</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>3,844,049,023</b>	<b>1,091,690,093</b>	<b>81,309,534</b>	<b>27,361,532</b>	<b>5,044,410,182</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>2,959,482,131</b>	<b>463,290,250</b>	<b>125,714,052</b>	<b>25,746,931</b>	<b>3,574,233,364</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
1 特定資産評価益	5,642,114,213	171,754,344	0	149,277,162	5,963,145,719
2 一般正味財産への振替額	△ 483,415,134	△ 9,541,908	0	△ 7,829,932	△ 500,786,974
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>5,158,699,079</b>	<b>162,212,436</b>	<b>0</b>	<b>141,447,230</b>	<b>5,462,358,745</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>5,158,699,079</b>	<b>162,212,436</b>	<b>0</b>	<b>141,447,230</b>	<b>5,462,358,745</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>8,118,181,210</b>	<b>625,502,686</b>	<b>125,714,052</b>	<b>167,194,161</b>	<b>9,036,592,109</b>

## ■財産目録

資産の部

負債の部

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>336,064,595</b>	<b>流動負債</b>	<b>99,133,832</b>
現金及び普通預金	245,777,957	未払金	98,362,363
未収賦課金等	4,541,087	預り金	771,469
売電未収金	4,722,444	<b>固定負債</b>	<b>831,463,515</b>
その他未収金	81,023,107	公庫資金等長期借入金	116,985,873
<b>固定資産</b>	<b>9,631,124,861</b>	その他長期借入金	593,750,405
基本財産	332,442,147	適正化事業拠出金長期未払金	10,476,000
特定資産	9,123,744,966	職員退職給付引当金	105,173,737
その他固定資産	174,937,748	総代役員退任慰労引当金	5,077,500
<b>資産合計</b>	<b>9,967,189,456</b>	<b>負債合計</b>	<b>930,597,347</b>
		<b>正味財産の部</b>	<b>9,036,592,109</b>

## 令和4年度 事業報告

## ①地区別地積及び組合員の状況

令和5年3月31日現在

地区別	R4年度末地積 (ha)	前年度比 (ha)	関係組合員 (人)	地区別	R4年度末地積 (ha)	前年度比 (ha)	関係組合員 (人)
一般会計	11,263.7	△ 11.3	4,425	押切地区	521.6	△ 1.2	287
※以下、事業費毎の内訳				広野地区	806.9	△ 4.0	464
青龍寺川共通	4,723.4	△ 2.6	1,738	大泉地区	898.3	△ 0.2	428
中川共通	3,541.8	△ 6.1	1,525	東郷堰地区	713.7	0.0	228
天保大川共通	1,358.9	△ 1.8	635	県営黄金地区	292.4	△ 0.3	106
八沢川共通	1,324.8	△ 0.8	436	県営岡山地区	51.3	0.0	30
県営赤川	3,927.0	△ 2.2	1,481	県営宝谷地区	25.0	0.0	29
鶴岡西部	2,135.7	△ 0.1	891	県営中楯地区	37.7	△ 0.1	15

## ②会議の開催状況

区分	定例監査	総代会	理事会	監事会	理事協議会	委員会
回数	2回	2回	9回	7回	1回	—

## ③賦課金の納入状況

(単位：円)

賦課区分	令和4年度				過年度		
	調定額	納入額	未納額	徴収率	調定額	納入額	未納額
運営事務費	67,628,192	67,248,512	379,680	99.4%	2,049,763	359,562	1,690,201
青龍寺川共通	90,964,399	90,325,109	639,290	99.3%	1,941,622	414,588	1,527,034
中川共通	95,781,218	95,201,922	579,296	99.4%	4,694,372	637,499	4,056,873
天保大川共通	80,275,588	79,043,244	1,232,344	98.5%	14,949,102	3,639,771	11,309,331
八沢川共通	61,666,862	61,666,862	0	100.0%	108,328	76,183	32,145
団体営	—	—	—	—	348,435	58,607	289,828
県営赤川	72,642,765	71,830,604	812,161	98.9%	4,524,296	771,255	3,753,041
鶴岡西部	103,865,107	103,526,948	338,159	99.7%	3,560,749	605,703	2,955,046
押切地区	25,657,213	25,491,482	165,731	99.4%	4,907	4,907	0
広野地区	22,366,891	22,337,098	29,793	99.9%	549,438	60,558	488,880
大泉地区	3,808,886	3,780,814	28,072	99.3%	23,332	6,073	17,259
東郷堰地区	33,600,438	33,412,457	187,981	99.4%	304,649	156,480	148,169
県営黄金地区	1,462,982	1,460,751	2,231	99.8%	—	—	—
県営岡山地区	1,539,042	1,539,042	0	100.0%	—	—	—
県営宝谷地区	499,002	499,002	0	100.0%	8,546	8,546	0
県営中楯地区	755,118	755,118	0	100.0%	—	—	—
合計	662,513,703	658,118,965	4,394,738	99.3%	33,067,539	6,799,732	26,267,807

## ④農地転用及び決済金納入状況

事業区分	転用面積(m <sup>2</sup> )	納入額(円)	事業区分	転用面積(m <sup>2</sup> )	納入額(円)
運営事務費	277,211.50	4,989,806	押切地区(共通)	12,314.46	428,128
青龍寺川共通	219,171.04	12,624,199	押切地区(落合)	685.00	77,004
中川共通	54,065.46	4,379,274	広野地区(共通)	40,949.00	2,948,328
天保大川共通	2,548.00	217,002	大泉地区(共同)	5,055.00	60,660
県営赤川(青龍寺川)	11,820.00	702,105	大泉地区(安丹)	577.00	1,731
鶴岡西部(湯田川)	230.00	33,810	東郷堰地区	660.00	88,110
鶴岡西部(大泉)	4,836.00	696,384	県営黄金地区	10,550.00	84,732
鶴岡西部(京田)	407.00	61,050	合計	—	27,392,323



⑤事業の実施状況

事業名	地区数	実施件数	事業費(円)	補助率等	主な事業内容
土地改良施設維持管理適正化事業	7地区	8件	43,600,000	60%	揚水機場整備補修ほか
農業水路等 長寿命化・防災減災事業	3地区	4件	24,466,500	82%(鶴岡) 77%(酒田・三川)	用水路管路化工事、操作室内機器更新
地域農業水利施設 ストックマネジメント事業	1地区	1件	7,280,000	80.5%(鶴岡) 75.5%(酒田・三川)	揚水機場送水管漏水補修工事
農業基盤整備促進事業	2地区	2件	4,728,000	82%(鶴岡) 77%(酒田・三川)	用水路目地補修工事
受託事業	5地区	10件	45,979,822	—	排水機場管理ほか
農道管理業務受託事業	4地区	9件	16,788,000	—	農道補修

土地改良施設維持管理適正化事業



米出揚水機場整備補修工事



東郷堰地区パイプライン整備補修工事



大鳥池巻上機格納庫整備補修工事

農業水路等  
長寿命化・防災減災事業



丸山用水路管路化工事

地域農業水利施設  
ストックマネジメント事業



山谷揚水機場送水管漏水補修工事

農業基盤整備促進事業



栄用水路目地補修工事

⑥長期借入金償還状況

(単位：円)

地区(会計別)	事業名	借入先	借入金	R4償還元金	元金残高	償還完了年度
東郷堰地区維持管理事業費	門前地区担い手育成基盤整備	日本政策金融公庫	34,555,000	992,593	376,203	R6年度
県営黄金地区事業費	水利施設等保全高度化事業	日本政策金融公庫	52,200,000	0	52,200,000	R24年度
県営岡山地区圃場整備事業費	農地整備事業	日本政策金融公庫	21,880,000	0	21,880,000	R24年度
青龍寺川地区 合計			108,635,000	992,593	74,456,203	
県営広野地区事業費	農業水利施設等保全高度化事業	JAそでうら	95,180,000	20,000,000	32,670,000	R22年度
		JA庄内みどり	93,450,000	5,220,000	47,900,234	R23年度
		全土連	848,979,000	126,080,000	513,180,171	R24年度
中川地区 合計			1,037,609,000	151,300,000	593,750,405	
県営たらのきだい地区圃場整備事業費	経営体育成基盤整備事業	日本政策金融公庫	65,763,670	27,000,000	15,529,670	R22年度
県営宝谷地区圃場整備事業費	農地整備事業	日本政策金融公庫	21,450,000	0	21,450,000	R24年度
天保大川地区 合計			87,213,670	27,000,000	36,979,670	
県営中楯地区圃場整備事業費	農地整備事業	日本政策金融公庫	5,550,000	0	5,550,000	R24年度
八沢川地区 合計			5,550,000	0	5,550,000	

### 農地整備事業の実施状況

## フル整備事業

岡山地区

▶管排水路の埋設



面積 50.9 ha  
 内容 区画整理  
 用排水路管路化  
 地下かんがい工  
 総事業費 12.3億円  
 工期 R3~R10



◀役員会のようす(5月)

令和5年度  
区画整理工1.8ha整備中

宝谷地区

▶造成中のほ場



面積 24.1 ha  
 内容 区画整理  
 用排水路管路化  
 地下かんがい工  
 総事業費 6.7億円  
 工期 R3~R10



◀整備予定のほ場

令和5年度  
区画整理工4.9ha整備中

中楯地区

▶現地境界確認(5月)



面積 37.9 ha  
 内容 区画整理  
 用排水路管路化  
 地下かんがい工  
 総事業費 9.5億円  
 工期 R4~R11



◀役員会のようす(9月)

令和5年度 実施計画完了

井岡地区

▶地元説明会のようす(6月)



面積 90.1 ha  
 内容 区画整理  
 用排水路管路化  
 地下かんがい工  
 総事業費 24.3億円  
 工期 R5~R12



◀換地委員会のようす(9月)

令和5年度 新規採択

## 部分整備事業

広野地区

▶径1mの送水管の埋設



面積 746.4 ha  
 内容 用排水路管路化  
 (自然圧送)  
 総事業費 104億円  
 工期 H24~R5



◀撤去された水路

令和5年度 工事完了

黄金地区

▶管用水路の埋設



面積 291.8 ha  
 内容 用水路管路化  
 (自然圧送)  
 総事業費 24億円  
 工期 R2~R11



◀新しく設置された給水栓

令和5年度  
管用水路工事を施工中

# 水利施設探訪その3 『菅野代頭首工』～八沢川地区の悲願～

本区の八沢川地区は、庄内平野南西部の山々を源に北流する大山川(旧八沢川)、大戸川、及びため池を主な取水源として、約1,330haを受益農地としています。地形上これらの水源となる山間部が狭小であることから、河川水量は十分とは言えず、好天が続くと干ばつによる水争いが起こり、少しの長雨でも洪水に見舞われるなど水に関わる苦労を重ねた地区でありました。

今回はその中でも大山川水系最上流部に位置し、八沢川地区で唯一の頭首工である『菅野代頭首工』の歴史についてご紹介します。

▼頭首工の位置関係



## ～鳥越間夫穴掘抜工事～

江戸から明治時代にかけて、藩の勸奨により庄内平野の開田は進み、八沢川地区も同様でありましたが、これにより元々あった水不足問題はさらに深刻化することとなります。この問題の解決に向け、山を隔てた五十川に新たな水源を求め、大山川への引水するという大規模な工事が計画されました。そして1871年(明治4年)より鳥越山に間夫穴(まぶあな：トンネルの意)を掘る工事は開始され、途中堅石に突当たるなど工事は難航しましたが、2年後の1873年(明治6年)に完成しました。

しかしながら、当時の測量や工事の熟練不足もあってか、通水すれど水が大山川に届くことは無く、資金不足も相まって工事は終了、事実上水源開発は失敗に終わってしまいました。

## ～80年後の悲願成就～

戦後の民主化や食糧増産体制、農地改革など目まぐるしく農業情勢は変わり、揚水機の設置や乾田化などの農業技術も発展を遂げる中、水源確保を求める農家や関係者の願いは日増しに強まっていました。国県等への陳情を重ねながら、周辺農家や旧温海町との交渉の末、ついに1950年(昭和25年)より県営八沢川沿岸用水改良事業において、菅野代頭首工と山間部を貫く八沢川水路トンネル(延長約1.8km)の造成工事が着工されることとなりました。五十川からの引水は前述の鳥越から5kmほど下流の菅野代地内を始点とし、大山川支川の越戸沢川へ導くというものでありました。

工事は1953年(昭和28年)に完成、通水も無事成功し、鳥越間夫穴掘抜工事から世代を超えて80年後、水源確保にかけた農家の方々の悲願がここに実を結びました。



▲昭和28年 竣工通水式と菅野代頭首工

## ～震災・豪雨を超えて～

昭和47年豪雨水害により頭首工左岸部が壊された際は洪水吐ゲートを新たに造成し、昭和58年日本海中部地震によりトンネル内に多数亀裂が生じた際はこれを復旧したりと、造成後も度重なる修繕・復旧を重ね、今日に至ります。令和4年には遠隔監視システムを導入するなど、新たな時代に向け、多くの先人達の苦労の賜物である菅野代頭首工を守り続け、また、未来へ繋げていきたいと思えます。



▲遠隔監視カメラ



菅野代頭首工全景

## お知らせとお願い

### 次のような場合は土地改良区への届出が必要です!!

#### 組合員の資格に移動がある場合

- 相続または経営移譲等による組合員の交代
- 農地の移動（売買・賃貸借・賃貸借解約）
- 住所、氏名、振替口座の変更
- 法人名義、代表者の変更

※本区賦課金は毎年4月1日現在の土地原簿が基準となっております。期限までに届出がない場合は前耕作者や所有者に賦課されますので、当事者同士で精算をお願いします。

#### ご注意ください!!

※農地の移動（売買・賃貸借・賃貸借解約）の際、滞納賦課金がある農地の場合、土地改良法第42条の規定により、新組合員に滞納賦課金が承継され、支払い義務が生じます。農地の移動の際は滞納賦課金の有無について、事前にご確認ください。

#### 農地を転用する場合

- 農地を宅地等の用途へ転用する場合
- 公共事業等により農地が買収される場合

※必要書類の提出および決済金の納付が必要となります。  
※農業委員会から「土地改良区の意見書」を求められる場合があります。交付には時間がかかりますので、お早めに申請ください。

#### 土地改良施設を使用する場合

- 雨水排水や合併浄化槽処理水の放流
- 水路敷地等を出入口として使用する場合

※必要書類の提出および使用料の納付が必要となります。

## 賦課金の期限内納付について

土地改良区は組合員の皆様からの賦課金により運営されております。適正な業務運営および土地改良事業等を実施する上で必要な経費ですので、必ず期限内の納付をお願いいたします。

**賦課金の納付は口座振替のほか、コンビニエンスストアでの納付も可能です！**

#### 口座振替

- JA鶴岡
- JA庄内たがわ
- JAそでうら
- JA庄内みどり
- 庄内銀行
- 鶴岡信用金庫
- 山形銀行

#### コンビニ・MMK設置店

- ファミリーマート
- セブンイレブン
- ローソン
- デイリーヤマザキ
- ヤマザワ
- ツルハドラッグ
- セイムス
- ウエルシア
- イオン 他

※専用の払込取扱票を発行いたしますので賦課徴収係まで申込んでください。

## 令和6年の取水について

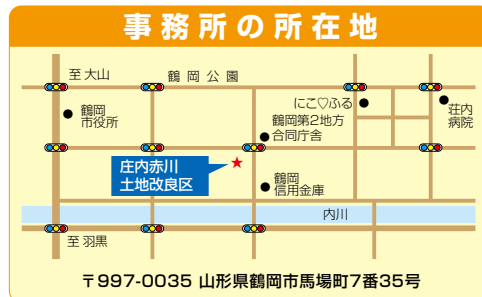
### 赤川頭首工からの取水期間

4月																									4月	9月
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	15										
水路維持用水(非農業用水)のため、 <b>圃場への利用は出来ません</b>															農業用水として <b>利用できます</b>											

**必ずルールに則った水管理を行い、違法な水利用は絶対にしないでください。**

総務課	総務係	☎0235-22-2135
	賦課徴収係	☎0235-22-5079
会計室		☎0235-22-5079
F A X : 0235-22-2185(総務課・会計室共通)		
E-mail : info@shonaiakagawa.jp		

工務第一課	青龍寺川地区・八沢川地区	☎0235-22-2477
国営施設管理室(赤川頭首工)	赤川地区共同管理	☎0235-53-2414
工務第二課	中川地区・天保大川地区	☎0235-22-2488
F A X : 0235-22-2434(工務課共通)		
E-mail : koumu@shonaiakagawa.jp		



庄内赤川土地改良区

**ホームページをご利用ください**

各種申請書様式やお知らせ等を公開しております。

